



平成30年度

オープンデータ、ビッグデータ 等を活用した自治体政策

世の中には、様々な分野において、オープンデータやビッグデータといわれるデータが数多く存在しています。これからの自治体政策においても、データの公開だけでなく、多様なデータの中から選択し、有効に活用していくことが求められています。この研修では、様々なデータについて理解し、講義や事例などを通して、データを活用した自治体政策について考えます。

研修の ポイント

- オープンデータ、ビッグデータを取り巻く現状について、講義や事例等を通して理解します。
- オープンデータを戦略的に提供することについて考えます。
- 講師や受講者との意見交換等を通して、データを活用、考慮した政策の立案、展開について考えます。

開催要領

日程 平成30年10月1日(月)～10月3日(水) (3日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 情報政策担当課、および企画・産業振興・福祉担当課等、データを活用して政策立案を行う市区町村の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数 30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 9,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成30年8月17日(金)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込フォーム」からお申し込みください。議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

平成30年

10月
1日(月)

11:00～ 入寮受付・昼食

12:30～ 開講・オリエンテーション

13:00～17:00

講義・演習 オープンデータ、ビッグデータ等を取り巻く現状

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 主幹研究員・准教授 庄司 昌彦 氏
本研修の導入講義として、オープンデータ、ビッグデータとは何かという基本的な部分からお話しいただきます。そのうえで、現在、世の中に存在しているデータ、それらが活用されている具体的な事例、民間での動向や政府や自治体政策での展開などについてご講義いただきます。また、ご講義後には、質疑や意見交換等の時間を設け、理解を深めます。

17:30～

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成30年

10月
2日(火)

9:25～12:00

講義・演習 地域経済分析システム(リーサス)活用の手法とポイント

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 内閣府地方創生推進室

ビッグデータチーム 参事官補佐(総括) 楠田 真之 氏

自治体職員にとって身近にあるビッグデータとして、地域経済分析システム(リーサス)の内容をご説明いただき、その活用事例や今後の展開、また実際の使い方などについて講義と演習を通してお話しいただきます。

13:00～14:30

講義・演習 自治体向けオープンデータカタログサイトを用いた
オープンデータ公開

内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室

内閣官房IT総合戦略室では、オープンデータの活用による、新しいビジネスやサービスの創出、社会生活のイノベーションの創出等を推進されています。本演習では、自治体向けのオープンデータカタログサイト及びダッシュボードアプリケーションのパッケージを用いて、オープンデータ公開の基本的な操作と、利活用のヒントを学びます。

14:45～15:55

事例紹介 データシティ鯖江、オープンデータの取り組み

福井県鯖江市政策経営部情報政策監 牧田 泰一 氏

鯖江市では、2012年からホームページで公開する情報を多方面で利用できるXML、RDFで積極的に公開する「データシティ鯖江」を掲げ、オープンデータの提供を積極的に推進されています。全国の自治体での初めての試み、その経緯と今後の展開、そしてデータ作成についてお話しいただきます。

16:10～17:20

事例紹介 糸島版マーケティングモデルで地域産業のやる気も出る

福岡県糸島市企画部秘書広報課主査 岡 祐輔 氏

糸島市はRESASを使い、5人以下の小規模事業者における売上低迷の課題と、食の強みを分析し、事業者と女子高生チームが地域産品の開発、販路拡大、広告宣伝に取り組むマーケティングモデルを実施。糸島産ふともずく、真鯛だしなどを商材に、事業者が稼ぐ力をつけることで地域経済を活性化させています。2016年、RESASを活用して地域を分析し、地域を元気にする「地方創生☆政策アイデアコンテスト」で優勝した糸島市の事例をお話しいただきます。

平成30年

10月
3日(水)

9:25～12:00

演習 意見交換、全体共有、まとめ

前日までの講義と事例紹介を踏まえ、受講者同士でふりかえりと意見交換を行います。研修終了後には、自団体のデータ利活用を推進することができることを目指し、講師や受講者間での質疑や意見交換等を通して、少しでも多くの疑問を解消し、最後に3日間のまとめを行います。

12:00～12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。